



「ドルフィン」シリーズ 水溶性ウレタン樹脂中塗り塗料

A Q D - S R - 2 5 5 0

特 徴

1 液もしくは 2 液での塗装が可能
レベリング性の高い塗膜を形成します

用 途

木工用水溶性中塗り塗料（居室内用）
ロールコーター用

使用方法

調合比

1 液仕様

（主剤）AQD-SR-2550	100
（希釈剤）水もしくは AQ-980 希釈剤※1	10～30

注）15℃以下で塗装および乾燥させる場合は、成膜性維持のため専用希釈剤をご使用ください。

2 液仕様

（主剤）AQD-SR-2550	100
（希釈剤）水もしくは AQ-980 希釈剤※1	10～30
（硬化剤）AQD-2050 B※2	5

※1 AQ-980 希釈剤（弊社水溶性塗料用希釈剤）

※2 AQD-2050 B（弊社水溶性塗料用硬化剤）

技術情報

塗装機器	ロールコーター
適正塗布量	1~2.5 g/尺 ² (10~30 g/m ²)
塗装回数	1回
乾燥時間 (塗布量 2 g/尺 ²)	<p>常温乾燥 2時間以上 / 15°C~25°C 70%RH 以下</p> <p>強制乾燥 10分静置 / 15°C~25°C 70%RH 以下</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>①15分~20分 / 40°C~50°C (強制乾燥) ②4~5分 / 60°C~70°C (強制乾燥) ③60秒~90秒 / 80°C~90°C (強制乾燥) ④20秒~30秒 / 100°C以上 (強制乾燥)</p>
可使時間	<p>1液仕様 可使時間の制限は特になし</p> <p>2液仕様 (AQD-2050 B) 約1ヶ月 (25°C 55%RH 水 20%希釈)</p>

注) 乾燥時間は、温度、湿度、送風の有無により変化しますので、十分確認テストを行ってください。

上記乾燥条件後も塗膜が柔らかい場合がありますので、取り扱いには十分注意してください。

注意事項

- ・ 使用前に容器をよく振って、もしくは攪拌して中味を均一にしてください。
- ・ 希釈には水道水をご使用ください。
- ・ 塗料は調合時によく攪拌してからご使用ください。
- ・ 気温 10°C以下、湿度 70%以上の環境下での塗装は、成膜性および塗膜性能に影響が出ますので避けてください。
- ・ 希釈量または塗布量が過剰な場合、発泡、塗料のふち溜りの原因となりますので、適正範囲内で塗装してください。

- ・ 溶剤系塗料を塗装している塗装機器で水溶性塗料を塗装する場合、使用前に溶剤系塗料の混入を防ぐため以下の手順で洗浄を行ってください。

< 塗装前 >

- ① 溶剤系塗料が乾いていない状態で付着している場合、アセトンできれいに拭き取ってください。
- ② アセトンで循環し、ポンプならびに循環用ホースを十分洗浄してください。
- ③ 水で循環し、アセトンを十分洗い流してください。目安として、洗浄水にアセトンの臭気がなければ洗浄を終了してください。

- ・ 使用後は下記の手順に従って速やかに洗浄を行ってください。

< 塗装後 >

- ① 使用後速やかに水で十分に洗浄を行ってください。
 - ② 何回か洗浄水を交換し、洗浄水が白い濁りから透明へ変わった時点で、塗装機器の防錆のために必ずアセトンで洗浄を行い、きれいに拭き取ってください。
- ・ 塗料は使用後速やかに密栓し、5℃～30℃の多湿を避けた暗所で保存してください。0℃以下では凍結の恐れがあります。
 - ・ 1 液仕様で希釈を行った塗料は粘度が低下しておりますので、保存した場合、塗料中の成分が沈降する可能性があります。次回使用する時は、必ずよく振って中味を均一にしてからご使用ください。成分が沈降した状態で使用すると、本来と異なる仕上がりとなりますので十分ご注意ください。
 - ・ 開栓後、長期保存した場合、腐敗することがありますのでご注意ください。
 - ・ 使用期限は製造日より三ヶ月を目安にしてください。
 - ・ 残塗料、廃液は下水及び河川などに捨てないでください。
 - ・ 残塗料や廃液および洗浄廃液について、溶剤系廃液との混在は避けてください。工業廃水として処理するもしくは、各都道府県の自治体の条例に従って適正に処理してください。
 - ・ 容器からこぼれた塗料及び残塗料を処理する時は、新聞紙またはウエス等で拭き取って完全に乾かし、各都道府県の自治体の条例に従って適正に処理してください。
 - ・ 取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、送気マスク、頭巾、保護メガネ、保護手袋、前掛け、長袖作業衣、襟巻きタオル等を着用してください。
 - ・ 塗装中及び乾燥中は換気を良くし、蒸気、ガス等を吸い込まないようにしてください。
 - ・ 塗料が皮膚についた時は、セッケン水で洗ってください。40℃程度のお湯をご使用されると効果的です。
 - ・ 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - ・ 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

その他取り扱い上の注意等については製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
この資料は、私どもの最良と思われるデータによって作成されておりますが、貴社にてご使用の際には、充分テストの上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

サンユーペイント株式会社